総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成30年度）

2. 分野別状況 （2）地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野（5/10）

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （千葉県柏市）	3.8	4.3 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 108% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 257% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 91% ・虚弱予防活動の展開 89%	3.1 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業 等 財政支援等 ・低炭素コンパクトシティと災害時スマートエネルギーシステムの構築 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催 等	3.8	・リハビリや口腔ケアなど一つ一つのサービスを独立に行うのではなく、運動・口腔・栄養に関する包括的な健康サービスの提供の展開を目指す点は評価できる。健康問題の背景には孤独や経済的な問題などの要因も重要であり、社会的ケアを見据えた統合的なサービスの可能性も模索して頂きたい。そうした新しい試みが、専門職を惹きつけ、人材不足の解決の一助になりうる。 ・人口の高齢化でニーズは高いにもかかわらず、ライフ分野の取組の遅滞、利用者数の目標未達成が見られる。地域のステークホルダーの協働体制の見直し、強化が必要と思われる。 ・トータルヘルスケアステーション創設に向けた課題（歯科衛生士の不足、リハビリ件数の不足）に対する解決策を見出すと、更なる発展が期待できる。事業所数拡大のための方策をしっかり考える必要がある。 ・評価指標（5）の「虚弱予防活動の展開」におけるフレイルサポーターの登録のレベルでは、アウトカムの把握にまでは至っていないという課題がある。